

株式会社オートバックスセブン 第78期 定時株主総会



2025年6月24日

本総会の株主様のご出席の状況

議決権を有する 株主様の総数	59,866名様
議決権の数	783,965個

ご出席株主様の人数※	25,457名様
議決権の数※	590,629個

※本日午前9時50分の集計

監査等委員会による 第78期の監査報告

事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

財産および損益の状況

財政状態、経営成績の概況

連結損益計算書（2024年4月1日～2025年3月31日まで）

(単位：百万円)	78期		77期 実績
	実績	前期比	
売上高	249,525	+8.6%	229,856
売上総利益	88,373	+17.2%	75,424
売上総利益率	35.4%		32.8%
販売費及び一般管理費	76,247	+13.1%	67,414
営業利益	12,126	+51.4%	8,010
営業利益率	4.9%		3.5%
経常利益	12,516	+54.6%	8,093
特別利益	1,030		3,971
特別損失	594		1,781
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,132	+28.0%	6,355
1株当たり当期純利益	103円89銭		81円52銭
自己資本当期純利益率（ROE）	6.2%		5.0%

（百万円未満切捨て）

報告セグメント別業績

		78期		77期 実績
		実績	前期比	
(単位：百万円)				
オートボックス事業	総売上高	197,100	+8.1%	182,402
	営業利益	22,050	+33.1%	16,560
コンシューマ事業	総売上高	29,308	+22.9%	23,844
	営業利益	▲847	—	▲1,297
ホールセール事業	総売上高	35,548	+0.5%	35,361
	営業利益	517	▲17.4%	627
拡張事業	総売上高	9,108	+9.8%	8,293
	営業利益	476	+112.2%	224
コーポレート	営業利益	▲10,070	—	▲8,105

(百万円未満切捨て)

オートバックス事業

売上高

197,100百万円

前期比 8.1%増 ↗

営業利益

22,050百万円

前期比 33.1%増 ↗

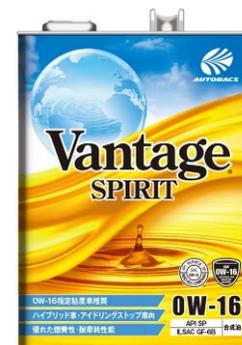
- 既存車のメンテナンス需要を背景に、タイヤ・オイル・バッテリーおよびサービス工賃が伸長
- スタッドレスタイヤやタイヤチェーンなどの冬季用品が堅調

PIRELLI

Cinturato P9™ AS



オートバックスグループ専売タイヤ
PIRELLI「Cinturato P9 AS」



プライベートブランド自動車エンジンオイル
「Vantage SPIRIT」

プライベートブランド 「AQ. (オートバックスクオリティ.)」



- AQ.におけるカー用品のラインアップを拡充
- 低価格で高品質なオリジナルピットサービス「AQ.ピットメニュー」の提供を開始

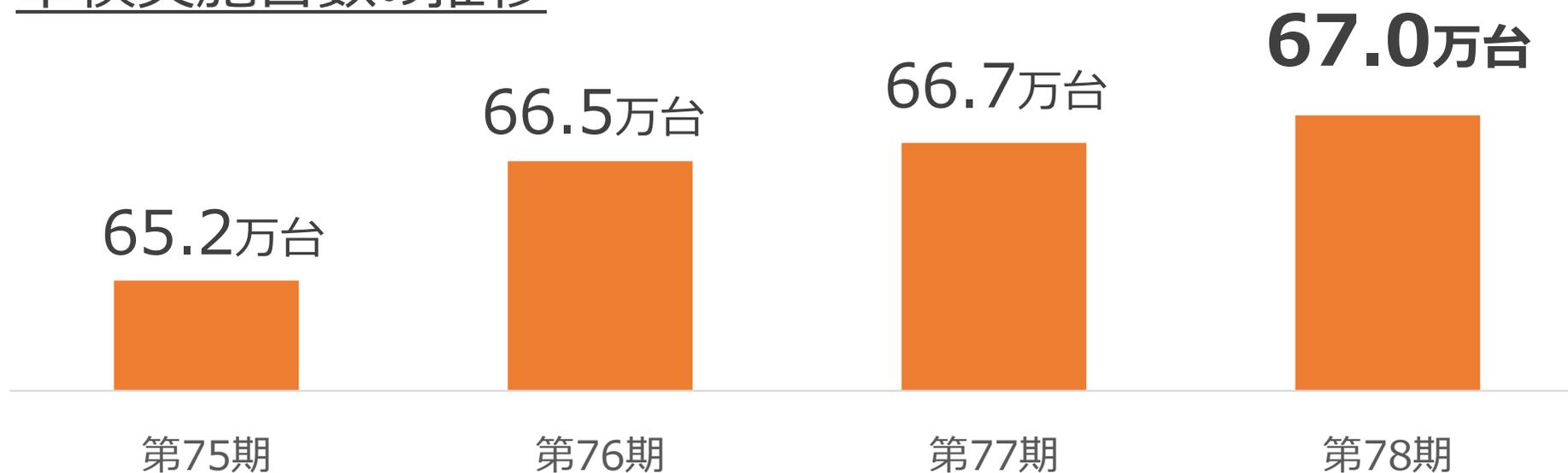


車検整備

- 公式アプリからのピット作業予約件数が増加



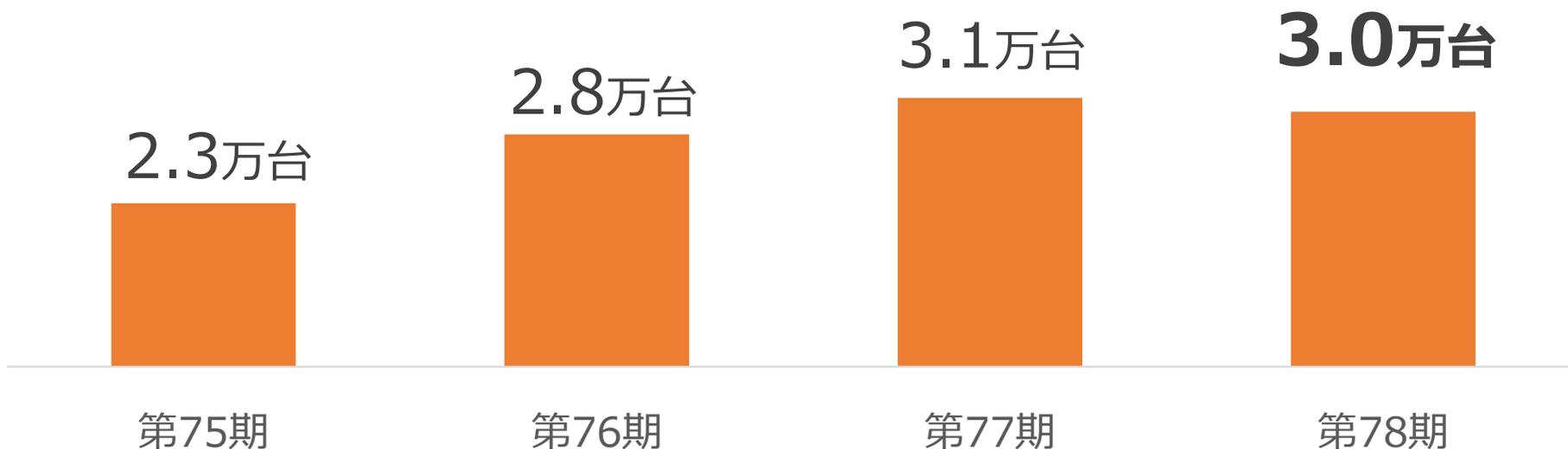
車検実施台数の推移



車販売

- 新車・中古車の小売販売台数は前年比で減少
- 中古車の単価上昇によりオークションへの販売が好調

新車・中古車販売台数の推移



海外



フランス

- 前期に2店舗を閉店した影響で売上が減少



シンガポール

- 既存車のメンテナンス需要拡大を取り込み、ピットサービスが好調



AUTOBACS HERBLAY (フランス)



自動車展示会へのブース出展の様子 (シンガポール)

売上高

29,308百万円

前期比

22.9%増 ↗

営業損失

▲847百万円

前期比

—%

ディーラー

- ホンダ正規ディーラーを運営する会社を連結子会社化
- Audi、BYDおよびホンダの3ブランドを展開



Audi 柏の葉



BYD AUTO 練馬



Honda Cars 松戸東店

車買取・販売

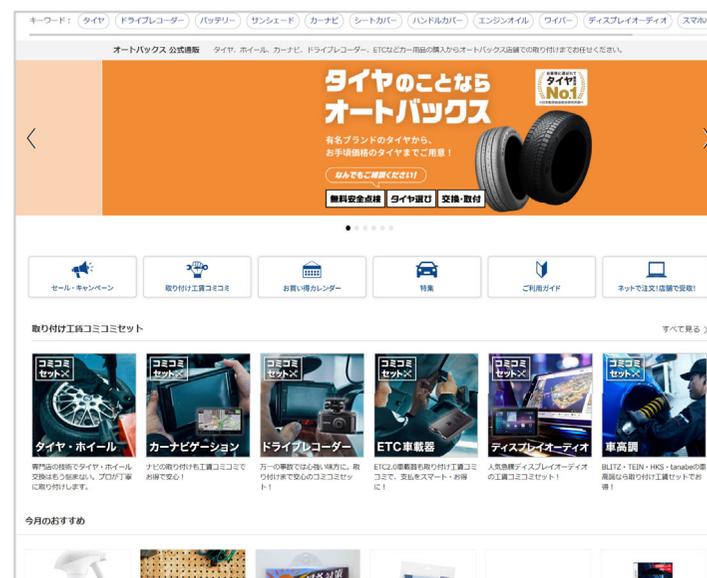
- オートバックスカーズ初の大型店「オートバックスカーズかしわ大井」をオープン
- 自社ローン型中古車販売事業を行う会社を連結子会社化



オートバックスカーズかしわ大井

ネット販売

- 公式通販サイトのリニューアルや取扱商品の拡充により、売上が増加



オートバックス公式通販サイト

ホールセール事業

売上高

35,548百万円

前期比

0.5%増 ↗

営業利益

517百万円

前期比

17.4%減 ↘

国内卸売

- ホイールおよびエンジンオイル等の卸売が堅調に推移
- 日産自動車の車種専用アイテムの販売が伸長
- セブン-イレブン店舗において「AQ.」の展開を開始



日産セレナ専用 シートカバー



セブン-イレブン店舗で販売するPB商品

海外卸売



日本

- 日本国内から海外への輸出が減少



オーストラリア

- インフレや金利上昇を背景に消費者の購買意欲が低下したことなどにより、売上が減少



マレーシア

- 認定店舗が増加し売上が伸長



中国

- 日本国内への輸出が拡大し売上が増加



連結貸借対照表 (2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部	負債の部
228,170 (+ 33,221)	96,206 (+ 30,410)
	純資産の部
	131,963 (+ 2,811)

(注) カッコ内数字は前会計年度からの増減額

(百万円未満切捨て)

その他 招集通知記載 項目

内 容	該当ページ
財産および損益の状況	20ページ
設備投資の状況	33ページ
資金調達の状況	
当社グループの主要な事業内容	
当社の主要な事業所	
重要な子会社の状況	34ページ
重要な関連会社の状況	
従業員の状況	
主要な借入先および借入額	
その他当社グループの現況に関する重要な事項	

内 容	該当ページ
株式の状況	35～36ページ
会社役員の状況	37～42ページ
会計監査人の状況	43ページ
当社のコーポレート・ガバナンス	43～48ページ
会社の体制および方針	48ページ
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨	51ページ
個別貸借対照表 個別損益計算書	52～53ページ

インターネットにて開示の項目

内 容	
事業報告	
	内部統制システムに関する基本方針およびその整備・運用状況の概要
	会社支配に関する方針
連結計算書類	
	連結株主資本等変動計算書
	連結注記表
計算書類	
	株主資本等変動計算書
	個別注記表
連結計算書類に係る会計監査人の監査報告	
会計監査人の監査報告	
監査等委員会の監査報告	

経営方針、経営環境 および 対処すべき課題

招集ご通知 21ページから25ページ

日本経済

プラス要因

- 雇用の改善
- インバウンド需要の増加

懸念要因

- 労働人口の減少
- 物価上昇に伴う個人消費の減速
- 米国の金融政策による影響

自動車関連業界

自動車業界

- EV需要の鈍化
- 業界再編、業界構造の変化

カーアフター市場

- 異業種企業によるM&A
- 周辺事業領域への参入の活発化
- 顧客獲得競争の激化

消費購買行動

- 価値観や購買行動の多様化
- カーシェアリングなどの普及
- 人とクルマの関係性の変容



長期ビジョン Beyond AUTOBACS Vision 2032

2032年度に連結売上高**5,000億円**を目指す

2032年度 国内KPI目標

グループ店舗数

1,300店舗

車検台数

100万台

車買取・販売台数

15万台

2024 中期経営計画 Accelerating Towards Excellence

2026年度 経営目標

連結売上高	連結営業利益	ROIC
2,800億円	150億円	7.0%

重点施策

- タッチポイントの創出
- 商品・ソリューションの開発と供給
- 新たな事業ドメインの設定

推進体制

- 次世代の経営を担う若手メンバーが計画策定から実行まで推進
- 部門/子会社を横断したタスクチームを組成

組織再編

- 執行役員に相当する役職を廃止
- 事業の分社化を推進

経営判断の迅速化と事業運営の効率化を推進

重点施策1 タッチポイントの創出

- 拠点および卸売販路を拡大
- オートバックス店舗の出店加速



2024年度実績

オートバックスの新規出店	13店舗
M & Aによる拠点拡大	101店舗
新ストアブランドの出店	3店舗



「117」の新規拠点を拡大

重点施策2 商品・ソリューションの開発と供給

- グループ最適の視点による構造改革を推進
- 高品質かつ低コストな商品開発により競争力を強化
- フランチャイズチェーンパッケージの見直しを実施

安心ピットカメラの全店導入の推進



専門研修の充実



店舗オペレーションを高度化し顧客満足度向上へ

重点施策3 新たな事業ドメインの設定

障害者等用駐車スペースの事前予約ソリューション「VEEMO Welfare」



急速充電器の設置

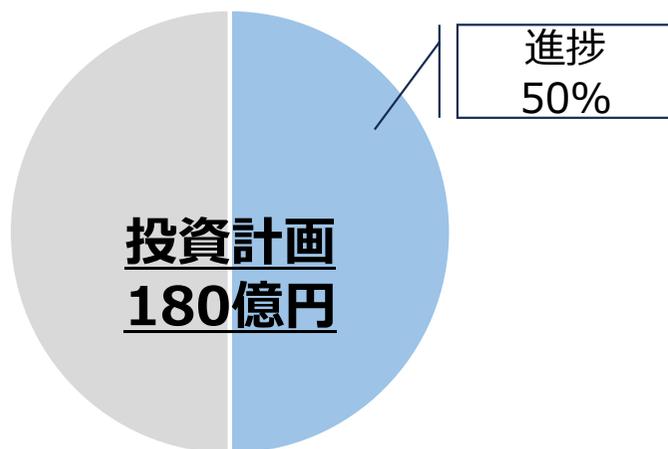


将来的な収益源とすることを目指し
先行的に取り組みを推進

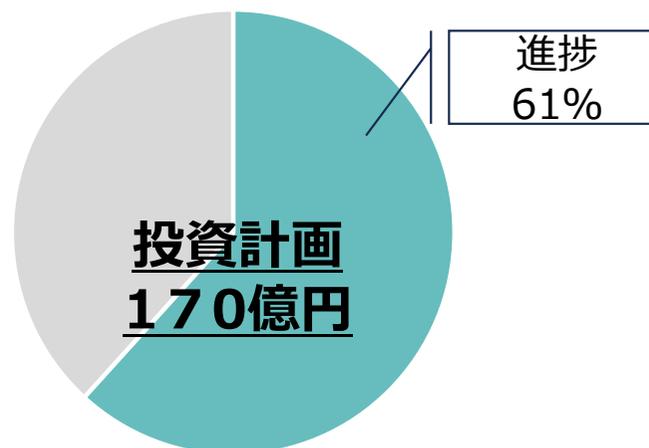
投資

中計期間中に**累計350億円**を投資

設備投資



M&A投資



株主還元

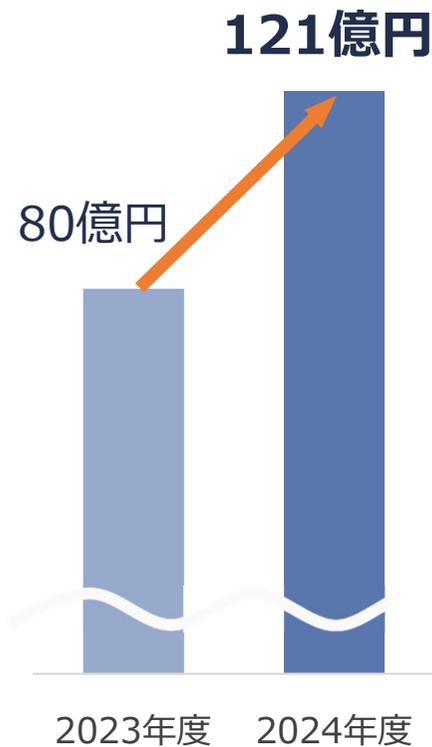
1株当たり年間60円の安定配当を維持する方針

2024年度業績結果

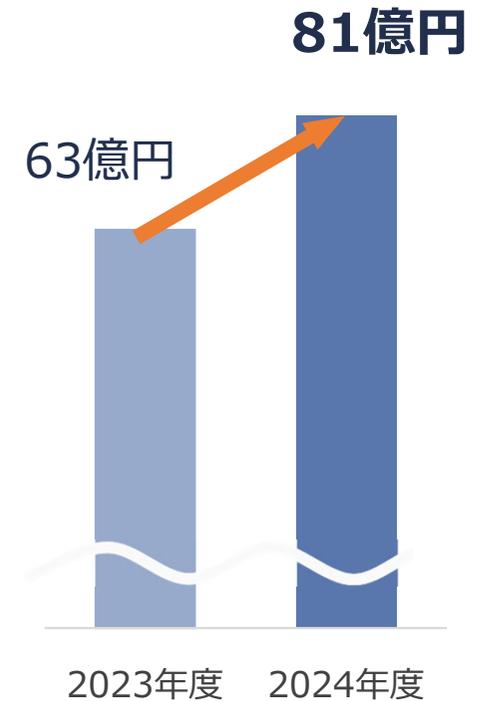
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



2026年度の営業利益150億円
達成に向け取り組みを加速

2025年度の見通し

連結業績計画

売上高

2,760億円

営業利益

135億円

経常利益

135億円

親会社株主に帰属
する当期純利益

82億円

カー用品販売業から 「総合モビリティアフター業」へ

創業から半世紀にわたり、
当社はオートバックス店舗を基盤としたカー用品販売を通じて、
お客様のカーライフを支えてまいりました。

これからの50年は、
オートバックス事業を中核としつつも、小売り・卸売りにとどまらず、
モビリティアフターマーケット全体を包括する
事業領域への拡大を目指してまいります。



パーパス 社会の交通の安全と お客様の豊かな人生の実現

お客様のモビリティに関わる「煩わしさ」の軽減と、
「出かける楽しさ」の提供を使命とし、
これまでにない新たな価値を創造するとともに、
交通事故ゼロ社会の実現に向けた貢献を目指してまいります。





クルマのことなら
オートバックス